

# 安全・安心なまちづくり推進事業

平成26年11月17日 県民活動課

## 1 現状と今後の方向性

- 刑法犯認知件数が年間6万件に迫った平成14年に「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動を提唱し、県民、事業者、ボランティア、関係団体、行政などが協働・連携して取り組んだ結果、地域における自主防犯活動が活発になるとともに、刑法犯認知件数が年々減少を続け、治安が改善傾向にある。
- 一方で、子供や女性を狙った犯罪や振り込め詐欺など、県民の日常生活を脅かす犯罪が跡を絶たない現状に、県民は不安を感じている。また、平成17年の安芸区の事件直後に最も活発となった子供の見守りなどの自主防犯活動は、高齢化や固定化、マンネリ化により停滞傾向にある。
- こうした中、平成23年からの5年間で、「安全・安心なまちづくり」と「安全・安心をもたらす警察活動」を両輪として、新たな「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動を展開し、引き続き多様な主体の協働・連携による地域の安全を確保する取組を推進することとしている。当課としても警察や教育委員会と密接に連携を図りながら、知事部局における窓口的機能や地域の自主防犯活動への支援など、引き続き安全・安心なまちづくりの取組を推進する。

## 2 事業概要

(単位 千円)

新アクション・プラン区分		事業項目	内 容	H26予算額
意識づくり	犯罪情報等の発信	安全・安心なまちづくり「ひろしま」地域活動支援サイト等の運営	地域ぐるみの安全・安心なまちづくり活動の定着・促進を図るため、地域の取組及び地域活動を支援する情報やノウハウを発信・提供する。 ・子供の安全・防犯に関する地域活動情報・教材・資料の提供	16
		自主防犯活動の促進	「安全・安心なまちづくり」広場【新規】	地域防犯活動を活性化させ、犯罪者に犯罪の機会を与えないためのサポーター育成につなげるとともに、地域による自立した取組に向けた体制づくりを促進するための意識づけを図る。
地域づくり	子供・女性の安全確保	出前講座	地域や学校等が行う地域安全マップづくりや研修会へ講師(職員、大学生ボランティア)を派遣する。 [H26.9末現在]8市町17回実施	274
		地域活動啓発ツール作成	子供の安全確保に関する子供自身や保護者、地域の意識づくりのための啓発ツールを作成する。 ・子供の被害防止ガイド「犯罪の被害にあわないために」の作成・配布(小学生高学年用)	150
	自主防犯活動の促進	「安全・安心なまちづくり」指導員養成学校【新規】	地域安全マップを地元で取り組む人材を育成するため、大学生ボランティアの協力を得て、市町等と共催で地域住民、保護者、教師等を対象としたセミナーを開催する。	122
		大学生ボランティア研修	大学生ボランティアの活動の活性化と自主防犯活動の担い手の拡充を図るため、地域安全マップづくりの指導者養成研修を実施する。 ・10月25日実施	35
		地域安全マップづくりブラッシュアップ研修	大学生ボランティアや過去に地域安全マップづくりを経験した者を対象に、地域安全マップづくりの指導・補助者として必要な知識・技能の継続・向上を図るための研修を実施する。 ・年1回	0
		大学生への講義	教員としての安全教育等に資するため、子供の安全な環境づくりについて大学の授業で講義を実施する。また、女子学生を対象とした防犯講座を実施する。 ・対象者:小中高教員志望者及び女子学生 [H26.9末現在]教職課程 4大学 女子学生 3大学	39
		市町との連携	市町と連携して安全・安心なまちづくり活動の推進を図るため、情報交換等を行い、市町の安全・安心なまちづくり活動を支援する。 ・担当課長会議 ・市町担当者研修会 ・市町訪問等	8
防犯ボランティア団体・事業者等との連携	防犯活動や交通安全活動を行う団体や事業者(企業等)を登録してネットワーク化を進め、安全・安心なまちづくりの機運の醸成を図る。 (パートナーシップボランティア団体・事業者登録制度) ・登録数 団体193 事業者989 (H26.9末現在)	15		
環境づくり	安全安心をもたらすしくみづくり	犯罪被害者等支援 ・犯罪被害者等支援総合窓口の運営 ・広報啓発行事(講演会の開催、HPによる情報発信) 窓口案内リーフレット作成(性犯罪被害者支援窓口カード 10,000枚) ・内閣府会議、研修等参加 ・関係機関等との連携 市町担当課長等会議開催、総合的対応窓口設置促進 支援活動員研修会開催(10月から広島市、福山市、三次市で開催)	703	